

SilkTest 2010 R2

リリースノート

Borland[®]
(A MICRO FOCUS COMPANY)

MICRO[®]
FOCUS
Leading the Evolution™

**Borland Software Corporation
4 Hutton Centre Dr., Suite 900
Santa Ana, CA 92707**

Copyright © Micro Focus IP Development Limited 2010-2011. All Rights Reserved. は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます。Copyright © Borland Software Corporation (a Micro Focus company) 2004-2011.

MICRO FOCUS, Micro Focusロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

BORLAND, Borlandロゴ及び は Borland Software Corporation またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

目次

SilkTest 2010 R2 リリース ノート	4
SilkTest 製品スイート.....	4
SilkTest の新機能.....	4
SilkTest Workbench の新機能.....	6
SilkTest Classic の新機能.....	7
システム要件および前提条件.....	8
ハードウェア要件.....	8
プラットフォーム サポート.....	8
テスト済みの構成.....	9
Adobe Flex のサポート.....	11
Java のサポート.....	11
SilkTest Classic の DSN サポート.....	12
サポート終了コンポーネント.....	12
解決済みの問題.....	13
既知の問題.....	14
インストール手順.....	14

SilkTest 2010 R2 リリース ノート

2011 年 4 月

このファイルでは、ヘルプには表示されない場合もある重要な情報について説明します。このファイル全体をお読みください。

インストールおよびライセンスの問題については、『[SilkTest インストールガイド](#)』を参照してください。

カスタマー ケアからサポートを受けるには、supportline.microfocus.com に移動してください。

SilkTest 製品スイート

SilkTest 製品スイートには、以下のコンポーネントが含まれています。

- SilkTest Workbench : SilkTest Workbench は、新しいネイティブ品質テスト環境です。上級者用の .NET スクリプトと、テストのアクセス可能性を高める革新的なストーリーボードベースのビジュアルテストが提供されます。
- Silk4NET : Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 Visual Basic または C# のテスト スクリプトを作成できます。
- Silk4J : Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。
- SilkTest Recorder : SilkTest Recorder を使用すると、GUI を使用してテストを記録および再生し、それらのテストを SilkTest Classic、Silk4J、または Silk4NET にエクスポートできます。
- SilkTest Classic : SilkTest Classic は、従来の 4Test SilkTest 製品です。
- SilkTest Agent : SilkTest Agent は、テストのコマンドを GUI 固有のコマンドに変換するソフトウェア プロセスです。つまり、テストするアプリケーションをエージェントが動かし、監視しています。ホストマシン上で 1 つのエージェントをローカルに実行できます。ネットワーク環境では、任意の数のエージェントをリモート・マシン上で実行できます。

SilkTest の新機能

このトピックでは、SilkTest 製品スイートのすべての製品に対して行われた重要な改善と変更の一覧を提供します。

SilkTest 2010 R2 WebSync 2 では、製品全体で以下の機能がサポートされています。

Internet Explorer 9 の暫定サポート

SilkTest では、Internet Explorer 9 で実行する Web ブラウザ アプリケーションの記録と再生が暫定的にサポートされています。

Firefox 4 のサポート

SilkTest では、Firefox 4 で実行する Web ブラウザ アプリケーションの再生がサポートされています。

Java アプリケーションの 64 ビット サポート

SilkTest では、以下の Java ツールキットを使用して開発された 64 ビット Java アプリケーションのテストがサポートされています。

- AWT
- SWT
- Swing

SilkTest 2010 R2 では、製品全体で以下の機能がサポートされています。

Java AWT/Swing アプリケーションおよびアプレットの記録と再生のサポート

SilkTest では、アプリケーションおよびアプレットの Java AWT/Swing コントロールの記録と再生がサポートされています。

 **注:** Java AWT/Swing アプリケーションまたはアプレットに埋め込まれた Java SWT コントロールや、Java SWT アプリケーションに埋め込まれた Java AWT/Swing コントロールもテストできます。

Adobe Flex バージョン 4.0 および 4.1 のサポート

新しい Flex 4.0 および 4.1 コントロール以外に、SilkTest では、Flex 3.x、4.0 および 4.1 アプリケーションにおいて複数のアプリケーションドメインもサポートされているため、サブアプリケーションをテストできます。

.NET および Windows API ベースのアプリケーションの 64 ビット サポート

SilkTest では、以下のテクノロジーについて、64 ビットアプリケーションのテストがサポートされています。

- Windows Forms
- Windows Presentation Foundation (WPF)
- Microsoft Windows API ベース

xBrowser アプリケーションのデフォルトの記録モードは低レベルのネイティブなユーザー入力

以前は、xBrowser アプリケーションのデフォルトの記録モードでは、高レベル DOM 関数が使用されました。たとえば、TypeKeys ではなく SetText、Click ではなく DomClick です。低レベルのネイティブなユーザー入力をデフォルト オプションにすると、記録したテストを変更せずに再生できる可能性が高くなります。低レベルのネイティブな再生では Flash、Java アプレット、AJAX アプリケーションなどのプラグインがサポートされますが、高レベルの API 記録ではサポートされません。

メソッドの動的呼び出し

以前のバージョンの SilkTest では、Windows Presentation Foundation (WPF) アプリケーションのメソッドを動的に呼び出すことができました。SilkTest 2010 R2 では、WPF アプリケーションに加えて、Windows Forms、Adobe Flex、Java SWT、Java AWT、Java Swing、および SAP アプリケーションのメソッドを動的に呼び出すことができます。

動的呼び出し機能を使用して SilkTest が対象としないコントロールのメソッドを呼び出したり、プロパティを取得/設定することができます。この機能は、カスタム コントロールを使用したり、カスタマイズせずに SilkTest がサポートするコントロールを使用する場合に有効です。

SilkTest Workbench の新機能

製品全体の機能以外に、SilkTest Workbench には以下の新機能があります。

テスト資産のインポートとエクスポート

インポートおよびエクスポートユーティリティを使用して、異なるデータベース間で資産を転送できます。資産のインポートおよびエクスポートによって、プロジェクト管理が簡単になります。また、WAN を介して資産を共有したり、外部のバージョン管理システムを活用したりできます。資産をインポートまたはエクスポートするには、**資産インポート** ウィザードまたは **資産エクスポート** ウィザードを使用できます。いずれの方法でも、必要に応じて資産のインポートとエクスポートをカスタマイズできます。

ビジュアルテスト、スクリプト、オブジェクト マップ、アクティブ データ、結果、および記録と再生のオプションをインポートしたり、エクスポートしたりできます。

オブジェクト マップ

オブジェクトマップには、コントロールまたはウィンドウのロケーターではなく、コントロールまたはウィンドウに論理名 (エイリアス) を関連付ける項目が含まれています。

オブジェクト マップには、以下の利点があります。

- 複雑なロケーター名がわかりやすい名前でも置き換えられるため、ビジュアルテストとスクリプトが読みやすくなる。
- テスト アプリケーションが変更された場合に変わる可能性のあるロケーター名に依存しなくなる。
- オブジェクト マップ項目のロケーターに加えられた変更を、対応するオブジェクト マップ項目を含むすべてのテストに適用することによって、テストのメンテナンスが簡単になる。

ビジュアルテスト

ビジュアルテストでは、以下の作業を実行できます。

- テスト アプリケーションで現在選択されているオブジェクトに検証を挿入できます。
Alt+F9 を押すと、記録は一時的に停止され、現在ハイライトされているオブジェクトが検証用に選択されます。**テスト ロジック デザイナ** ウィザードが開き、選択されたオブジェクト セットが検証対象のコントロールとなります。
- ビジュアルテスト内で .NET スクリプトを実行できます。
ビジュアルテストでは、既存の .NET スクリプトを呼び出して実行できます。これにより、アプリケーションのテストに対するモジュール式アプローチが可能になり、テストの実行をより制御できるようになります。
- ビジュアルテストからスクリプトに、およびスクリプトからビジュアルテストにパラメータを渡すことができます。
- テスト アプリケーションからビジュアルテストに画面を挿入できます。

ビジュアルテストステップを作成したあと、追加の画面と操作を記録するのではなく、テストを開き、画面キャプチャを挿入して、関連するテストステップを手動で追加することができます。画面キャプチャを挿入すると、テストアプリケーションの更新された画面を含むビジュアルテストを手動で構築できます。この方法を使用すると、新しい画面を記録するよりも効率が上がる場合があります。

- **テストステップ** ペインの適切なグループステップまたは個別のステップのコンテキストにリンクされたスナップショットを **画面プレビュー** および **ストーリーボード** で表示できます。

テストアプリケーションと対話するステップは、**画面プレビュー** で、対応するアプリケーション画面要素のイメージによって表されます。すべての自動テストステップには独自のスナップショットがあり、**画面プレビュー** では(グループ画面)または(ステップ画面)というラベルが付けられます。**テストステップ** ペインに表示されるステップは、論理グループを示す濃い青の実線で区切られています。このようにグループ化されたステップは、**ストーリーボード** の各サムネイルに対応します。

組み込みのスクリプト言語

スクリプトを使用して、以下の作業を実行できます。

- アクティブ データを使用して、データ ドリブン テストを作成できます。
アクティブ データ テストでは、強力で包括的なアプリケーション テスト ソリューションの入力として外部ファイルの既存のデータを利用できます。アクティブ データ テストでは、トランザクションごとに異なるデータセットを使用することにより、複雑なコードを記述したり、既存のデータを損なうことなく、テスト アプリケーションで複数のトランザクションを実行できます。
- スクリプト内にパラメータを作成および設定して、それらを他のスクリプトとの間で受け渡しできます。
- ビジュアルテストからスクリプトに、およびスクリプトからビジュアルテストにパラメータを渡すことができます。

他の Micro Focus 製品との統合

SilkCentral Test Manager (SCTM) から SilkTest Workbench テストを実行するユーザー用に、結果分析を拡張するためのいくつかの改善が実装されています。詳細については、SilkCentral Test Manager のドキュメントを参照してください。

SilkTest Classic の新機能

製品全体の機能以外に、SilkTest Classic には以下の新機能があります。

動的オブジェクト解決によるロケーター キーワードの記録のサポート

以前のリリースでは、動的オブジェクト解決を使用するスクリプトで Find または FindAll 関数を使用する代わりに、ロケーター キーワードを手動で作成できます。

SilkTest Classic 2010 R2 では、Open Agent でテストケースを記録するときに、SilkTest Classic によってロケーター キーワードが INC ファイル内に作成され、動的オブジェクト解決とウィンドウ宣言を使用するスクリプトが作成されます。ロケーターは識別子ではなくオブジェクトの実際の名前であり、論理名です。SilkTest Classic では、テストケースの実行時に、ロケーターを使用してアプリケーションでオブジェクトが識別されます。

Locator Spy を使用して、ロケーター キーワードを含むウィンドウ宣言を手動で記録することもできます。ウィンドウ宣言またはロケーター キーワードを記録するには、**Record ► Window Locators** を選択し、

使用するオブジェクトまたは階層をキャプチャして、**Paste Hierarchy to Editor** または **Paste Locator to Editor** をクリックします。

ロケーターキーワードを含まない動的オブジェクト解決を使用するテストケースは、引き続き機能します。

システム要件および前提条件

以下のセクションでは、SilkTest をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

ハードウェア要件

以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の DualCore プロセッサ (2 GHz)
RAM	2 GB
ハード ディスク領域	2 GB の空きディスク領域

プラットフォーム サポート

プラットフォーム

SilkTest 2010 R2 は、以下のプラットフォームで実行されます。

- Windows XP SP3
- Windows Vista SP1 または SP2
- Windows 7
- Windows 2008
- Windows 2008 R2

テクノロジ ドメインおよびブラウザ

SilkTest 2010 R2 では、以下のブラウザを使用するアプリケーションまたは以下で開発されるアプリケーションがサポートされています。


テクノロジの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic でサポートされるバージョン	Classic Agent を使用する SilkTest Classic でサポートされるバージョン
Adobe Flex	3.0、3.2、3.3、3.4、3.5、4.0、4.1	サポート対象外
Firefox	3.5、3.6、4 (再生のみ)	サポート対象外
Internet Explorer	6、7、8、9 (暫定サポート)	6、7、8 (再生のみ)
Java AWT/Swing	Java 1.6	Java 1.6

テクノロジーの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic でサポートされるバージョン	Classic Agent を使用する SilkTest Classic でサポートされるバージョン
Java SWT	3.2、3.3、3.4、3.5、3.6	サポート対象外
SAP	SAPGUI クライアント 7.10 および SAPGUI クライアント 7.20	サポート対象外
Win 32	任意	任意
WinForms	.NET 2.0、3.0、3.5、3.5 SP1、4.0	サポート対象外
WPF	.NET 3.5 SP1、4.0	サポート対象外


データベース

SilkTest 2010 R2 では、SilkTest Workbench の資産の格納について、以下のデータベースがサポートされています。オペレーティング システムについては、注記を参照してください。

- SQL Server 2008 (SP1) + Express
- SQL Server 2005 (SP3) + Express
- Oracle 11.1
- Oracle 11.2

 **注:** SilkTest のインストール時に SQL Server 2008 Express SP1 をインストールすることを選択する場合は、以下のサポート対象オペレーティング システムのいずれかがあることを確認してください。


- Windows 7
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2
- Windows Vista SP1 または SP2


 **注:** Windows Vista SP1 の場合、.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをコンピュータにインストールしてから、SQL Server をインストールする必要があります。この要件を満たさない場合は、SQL Server Express がインストールされません。.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをインストールするには、Microsoft の Web サイトからダウンロードします。

- Windows XP Service Pack 3

テスト済みの構成

テスト済みの構成をプラットフォーム別に以下に示します。すべての組み合わせをテストすることは不可能であることに注意してください。経験上、組み合わせが異なると SilkTest での動作は異なる場合があります。Micro Focus では、可能なかぎり多くの組み合わせをテストしています。

 **注:** SilkTest は 64 ビット オペレーティング システムで使用できますが、SilkTest では .NET および Windows API ベースのアプリケーションについてのみ 64 ビット アプリケーションのテストがサポートされています。さらに、WebSync 2 から 64 ビット Java アプリケーションのテストがサポートされています。

 **注:** SilkTest を使用するには、ローカルの管理者権限を持っており、UAC を無効にする必要があります。

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
Windows 7 (32 ビット)	Internet Explorer 8 Firefox 3.6 (再生のみ)	Internet Explorer 8 (再生のみ) Java 1.6 (AWT/Swing)
Windows 2008 SP2 (32 ビット)	Flex 3.5、4.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.6 .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF) Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 SAPGUI クライアント 7.20 パッチ 6	Win 32
Windows Vista SP2 (32 ビット)	Internet Explorer 7 Firefox 3.6 Flex 3.5、4.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.6 .NET 4.0 (WPF) Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 SAPGUI クライアント 7.20 パッチ 6	Internet Explorer 7 (再生のみ) Java 1.6 (AWT/Swing) Win 32
Windows XP SP3 (32 ビット)	Internet Explorer 6 Firefox 3.0 Flex 3.5、4.1 Java 1.6 (AWT/Swing) SWT 3.5 .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF) Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13	Internet Explorer 8 (再生のみ) Java 1.6 (AWT/Swing) Win 32

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
-------------	--	--

SAPGUI クライアント 7.20 パッチ 6

Windows 7 SP1 (64 ビット)	Internet Explorer 9 Firefox 4 .NET 4.0 (WPF) Win 32 SWT 3.6.1 Java 1.6 (AWT/Swing)
---------------------------	---

Windows Vista SP2 (64 ビット)	Internet Explorer 8 Firefox 3.6
Windows 2008 R2 SP1 (64 ビット)	.NET 4.0 (WPF) Win 32 SWT 3.6.1 Java 1.6 (AWT/Swing)

Adobe Flex のサポート

SilkTest では、以下のブラウザを使用した Flex 3.0、3.2、3.3、3.4、3.5、4.0、および 4.1 のテストがサポートされています。

- Internet Explorer 9 (GA、暫定サポート)
- Internet Explorer 8 (GA)
- Internet Explorer 7 (GA)
- Internet Explorer 6 (SP 1 および SP 2)
- Firefox 3.5、3.6 (再生のみ)
- Adobe AIR 2.0 (Flex 4.0 および 4.1 で作成)

Java のサポート

Open Agent のサポート

SilkTest では、Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- SWT 3.2、3.3、3.4、3.5、および 3.6 スタンドアロン アプリケーションおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーション (ブラウザでアプレットとして実行される SWT スタンドアロン アプリケーションはサポートされていません)
- Java バージョン 1.6
- AWT
- Swing (Java Foundation Class を含む)
- アプレット (すべてのサポート対象ブラウザで)

Classic Agent のサポート

SilkTest では、Classic Agent を使用する SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- Java バージョン 1.6
- AWT
- Java Foundation Class (JFC、Swing)
- Symantec Visual Café
- アプレット


 **注:** アプレットは Internet Explorer 8 ではサポートされていません。

SilkTest Classic の DSN サポート

SilkTest Classic のデータ ドリブン ワークフローは、以下をサポートします。

- テキスト ファイルおよびカンマ区切り値ファイル (*.txt ファイルおよび *.csv ファイル)
- MS Excel
- MS Access
- MS SQL Server
- Oracle (部分的なサポート)
- SyBase SQL Anywhere

SilkTest Classic は、ODBC を使用して上記のデータベースにアクセスするため、有効な ODBC ドライバを持つこれらのデータベースのバージョンをサポートします。

 **注:** SilkTest Classic の **Select Data Source** ダイアログ ボックスで、Silk DDA Excel または Segue DDA Excel のいずれかのデータ ソースを選択できます。新しいデータ ドリブン テストケースの場合は、Silk DDA Excel データ ソースを選択します。Segue DDA Excel データ ソースは後方互換性のために選択します。これにより、Segue DDA Excel を参照する既存の .g.t ファイルが引き続き機能します。

サポート終了コンポーネント

以下のオペレーティング システム、機能、および統合は、SilkTest 2010 R2 ではサポートされていません。

- Adobe Air 1.x
- Classic OCR
- Firefox 3.0
- IBM JRE 1.5
- Java バージョン 1.5
- MSUIA テクノロジ ドメイン (WPF テクノロジ ドメインはサポートされています)

解決済みの問題

問題番号	説明	メモ
RPI 576760	終了時にアプリケーションがユーザーにプロンプトを表示する場合、再生中にエラーが発生する	Knowledge Base の記事 31353
RPI 577377	SQL Server Express 2008 をインストールするときに、TCP/IP がデフォルトで有効にならない	Knowledge Base の記事 31506
RPI 1074627	IFrame 内の内容を参照する Open Agent の機能	
RPI 1075485	[表示] ツールバーで [アセットブラウザの表示] ボタンを使用すると、既存または最近使用したアセットブラウザ ウィンドウが表示されるのではなく、新しいアセットブラウザ ウィンドウが開かれる	
RPI 1075548	WPF コントロールを WinForms アプリケーションから起動すると認識されない	
RPI 1075721	FlexTitleWindow がいつ閉じたかを判別できない	
RPI 1075745	Open Agent が .NET クラス名および ID ではなく Win32 クラス名を使用する	
RPI 1075867	読み取り専用のファイルを含むプロジェクトが正しく開かない	
RPI 1075889、 RPI 1076205、 RPI 1076316	Silk Test Classic 2010 がウィンドウ宣言の記録でクラッシュする	
RPI 1075894	GetTestPlanName が、testplan 内にいないときに誤った値を返す	
RPI 1076002	GetContents が bRawMode の特殊文字を False として返す	
RPI 1076148	WPF 4.0 : 同期化の問題	
RPI 1076326	SilkTest 2010 テスト スクリプトの実行が SilkTest 2009 テスト スクリプトの実行よりも遅い	
RPI 1076701	パスに「ä」、「ö」、または「ü」があると CaptureBitmap が機能しない	

問題番号	説明	メモ
RPI 1076911	Repeat-While ループでの SilkTest Workbench/ビジュアルテストの障害	
RPI 1077108	GetCloseWindows() 呼び出しの処理の問題	
RPI 1077168	OpenContextSelect メソッドを使用しているときの意味のあるエラー メッセージ	
RPI 1077181	Java オブジェクトの GetItemRect	

既知の問題

このセクションでは、SilkTest の既知の問題を識別します。

SilkTest の既知の問題とその解決策は [Micro Focus Knowledge Base](#) に記載されています。

インストール手順

インストールおよびライセンスの問題については、『[SilkTest インストールガイド](#)』を参照してください。